

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年6月10日 No.1 国際会議まであと53日

NPT・ニューヨーク行動の成果を世界大会へ

NPT再検討会議ニューヨーク行動に参加した日本原水協代表団のみなさんが各地で報告会を行っています。

はじめて青年バス一栃木

栃木県原水協は5月22日、宇都宮市で「NPT再検討会議報告集会」を開きました。栃木県内から派遣された代表6人のうち、4人が報告しました。日ごろ生真面目な印象を与える男性が、新婦人のハッピーを借りてパレードに参加したことなど笑いが巻き起こる場面もあり、終始、元気で和やかな雰囲気で行われました。

栃木から世界大会に青年バスを出すとりくみは、本格化してきています。青年参加者の目標は40人と決め、青年の実行委員会はとりくみを訴えるチラシを作成しました。県原水協のカンパのとりくみは、50万円の目標に対して6月10日現在、25万円が集まっています。

病院外来待合室でNPTニューヨーク報告会—東京・健生会

NPT再検討会議inNY健生会代表団は6月9日、立川相互病院で報告集会を行い、代表3人が報告しました。

報告会は、病院の2階外来待合室で行われ、40人以上が参加。通りすがりの患者さんも耳を傾けていました。

報告を聞いた参加者からは、「年間を通した活動が大事。6月20日に被爆者検診にとりくむが、今後も続けていきたい」、「パン・ギムン国連事務総長の5月1日演説は、この間の私たちの取り組みと成果を端的にあらわしている。みんなのものにしていきたい」、「NPTの5年間をつなぐものとして原水爆禁止世界大会があるのだと再確認した」などの感想が口々に出されました。

今年初めて世界大会に参加するという青年は、「これまで核兵器廃絶の運動については何も知らなかったが、今日お話を聞いて運動に参加できて良かった。これからも勉強させてほしい」と率直な気持ちを語りました。

最後に、健生会として昨年の代表数17人を上回る代表を送りだそうと決意が固められました。

日本原水協から前川史郎『原水協通信』編集長が参加し、NPT最終文書の成果と課題をみんなのものにして、原水爆禁止世界大会を大きく成功させようと呼びかけました。



NPT報告会(6月4日)

市民の会でNPT報告会 岡山・笠岡

笠岡市・署名をすすめる市民の会は6月4日、市内「サンライフ笠岡」でNPT要請行動参加報告会を行いました。

被爆者の会の土屋圭示さんはNYでの証言活動を中心に、樋之津倫子さんは署名、パレードなどDVDを使って詳しく報告されました。「会」の署名最終集約数は26728筆でした。

国連総会に向けて6・9行動—青森・八戸原水爆禁止の会

八戸原水爆禁止の会は6月9日、参加者9人で、秋の国連総会に提出する「核兵器のない世界を」署名の6・9行動を行いました。弁士は、先月まで毎月6日と9日に6・9行動に取り組み、多くの署名が寄せられたことに感謝し、そうした署名がNPT再検討会議での前進につながったことを報告、引き続き秋の国連総会に提出する署名への協力を訴えました。また、6月10日と11日に市内で行われる国民平和大行進への参加を呼びかけました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。